



地域でボランティアとして活躍している「活動者」をリレー方式で紹介します。



辰巳純子さん

今回は「文京音訳講習OB会」の岩淵千恵子さんからバトンを引き継いだ「サークル・六点会」の辰巳純子さんに、活動内容や活動をはじめたきっかけなどをお聞きしました。

サークル・六点会の紹介ページはこちらから！



### Q 現在どのような活動をされていますか？

文社協や区、文京区視覚しょうがい者協会などからの依頼で点訳を行うのが主な活動です。企業や個人の方から依頼がくることもあります。そういった依頼に応えるだけでなく視覚しょうがいのある方との交流も図りながら理解を深めています。最近では視覚しょうがいのある小学生が勉強できるようにドリルの点訳に取り組んでいますし、糸やテープを貼って道路を表現したり厚紙を貼り合わせて高低差を作り、触って市街地などが分かる触図という地図等の制作もします。区民センターにも触図案内板がありますよ。

### Q 活動をはじめたきっかけは何ですか？

小学生のころから点字って暗号みたいで面白いなあと思っていました。時間に余裕が出てきたタイミングで点訳講習会を受講して、その時の講師と助手の方がとても素晴らしい方だったので、一緒に活動をする事で学んだことを活かし、さらに深く点字について学ばせていただきたいと思いました。

### Q 活動をする上でやりがいを感じることは何ですか？

どのように点訳したらいいのか、また触るだけで形などを分かってもらえるにはどうすればいいのか迷うことや難しいことも多いです。でも切ったり貼ったりして何かを作ったり、活字に触れることが好きなので楽しんでいきます。区内の学校でも点字を教えることがあります。子供たちが理解してくれた時はすごくうれしいです。自分が楽しめることで誰かの役に立っているかもしれない、と思えることがやりがいにつながります。

### Q これから何かはじめていたいと思っている方へのメッセージをお願いします

今までの交友関係とは違う人たちと繋がっていき世界が広がるので、いろいろトライしてみて自分がやってみたいと思えることを探してみるといいと思います。自分自身が興味を持って楽しむことが大事ですし、決して無理をしないということが長続きする秘訣ではないでしょうか。



※今回は辰巳純子さんよりバトンを引き継いだ、こまじいのうち等で活動中の山上良一さんを紹介いたします。



どっとフミコムでは、ボランティア情報やワークショップ・イベント、文京区で活動されている団体の紹介など、さまざまな地域活動の最新情報を見ることができます。気になる情報は、どっとフミコムのサイトでチェックしてみてください！



<https://d-fumi.com>

ご相談  
ください

ボランティアに関心がある方、興味を持った方、

やってみたい！ してほしい 話を聞きたい！

など、ボランティアについての質問や問合せ、ご相談を下記の地域連携ステーションボランティア担当までご連絡ください。

発行 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域連携ステーション <https://www.bunsyakyo.or.jp>  
〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター地下1階 TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966

開所時間：月～金 9:00～19:00 / 土 9:00～17:00 / 日・祝 9:00～17:00 (施設利用のみ)  
休館日：12月28日～1月3日 ※毎月第4月曜日は17:00まで

ぼらんていあニュースは、封入ボランティアの皆さんのご協力のもと、お届けしています。いつもご協力ありがとうございます。

あなたらしく。はじめる、つながる。きっかけ応援誌！

# ぼらんていあ 春 ニュース

TAKE  
FREE

ご自由に  
お持ちください



令和7年3月発行

## TOPICS

- 1 持続可能な未来をあなたの手で / さくらや文京店
- 2 ボランティア情報 / ボランティア保険
- 3 点訳講習会～受講生フリートーク～
- 4 バトンをつなげる～活動者の声～

## 持続可能な未来を あなたの手で みなさんは学生服をどうされましたか？



文京店代表  
石井真弓さん



さくらやの紹介ページはこちらから！

誰かに譲る、リメイクして雑貨として使うこともあるでしょう。でも、大半の方は愛着がありながら「廃棄処分」していませんか。春号では卒業シーズンのいまだからこそできるあなたの関わり方と、学生服リユースショップさくらや文京店をご紹介します！

### 回収された制服が生まれ変わるまで、どのくらいかかりますか？

だいたい仕上がるまで1ヶ月くらいです。制服の状態にもよりますが、何らかの手を加える必要があります。裾直しやボタン付けといった補修は今のところ私がやっていますが、体操着についたネーム刺繍を取る作業は、ものすごく大変で時間がかかるものなんです。文社協で紹介いただいた文京区内の就労継続支援B型事業所でその作業をお願いできるようになり、とても助かっています。



刺しゅうを外す作業

### 購入される方は、どのような意識を持たれていますか？

キレイでわりと良い状態のものが手頃な値段で買えるなら、「リユースを活用した方がいいんじゃない？」とお子さんが言うことがあります。学校でSDGsの授業を受けている世代なんですよ。合理的に考え、新しいものを何枚も買い替えるのではなく「まだ使えるものは使いたい」と考える方が結構いらっしゃいます。



回収ボックスに  
寄付された制服

### 寄付するにはどうすればいいですか？

学生服回収ボックスを文京区内に設置させていただいています。回収ボックスに直接入れていただく、あるいは当店で電話やメールでお問合せいただいても構いません。

### これからの活動について、教えてください。

「リユース」という選択肢が、当たり前前に社会にあればよいと思います。そのためには選択肢(イベント)をお見せすることが大事だと思っています。リユースショップがあることを周知するため、子ども服の交換会やランドセル譲渡会を開催しています。必要な方に情報提供できるよう、さまざまな形で情報発信も行っていきます。

地域連携ステーション ボランティア担当 TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966



募集中!

## 「コミュニティ食堂ピノッキオ」ボランティア募集

コミュニティ食堂ピノッキオは、3町会の有志役員を中心に大学生など集まってカレーライスを作ったり、寄付された食料を調理・配布するなどのボランティアをしています。若い人も多いので賑やかな雰囲気です。今後は活動場所である介護付きホームも利用させていただき、より地域に密着した活動をしていきたいと思っています。



こんな感じで活動しています。



- 活動日** 毎月、第4日曜日  
9:00～12:30くらいまで
- 活動場所** 文京区関口1-14-12  
(杜の癒しハウス文京関口)
- 集合場所** 文京区関口1丁目10-19 ドミール大江1F  
(大江紙業)

LINEはこちら



問合せ TEL 080-4473-0341 小穴(おあな)

募集中!

## 東大病院にここボランティア

東大病院では、外来棟における院内ガイドやお身体の不自由な方のお手伝い、ここに文庫(図書室)の運営等に携わってくださるボランティアを募集しています。

- 対象**
- ① 説明会・面談、及び研修に参加できる方
  - ② 1か月2回以上活動できる方
  - ③ 2～3時間立ち仕事ができる方
  - ④ 3ヶ月以上継続して活動できる方
  - ⑤ 活動開始時点で18歳以上70歳未満の方(高校生は除く)
  - ⑥ 現在当院にて就業されていない方(派遣を含む)
  - ⑦ 現在当院に受診されていない方(経過観察を含む)

**日時** 月曜～金曜(祝日・年末年始を除く)  
8:30～15:00の間の2～3時間  
※学生に限り2時間枠が可能です

**場所** 文京区本郷7-3-1(東京大学医学部附属病院)

**募集締切** 令和7年4月30日(水)

問合せ詳細はこちら



ボランティアを希望の方に限り、見学が可能です。問合せ先までご連絡ください。

### 令和7年度 ボランティア保険のご案内

ボランティア保険とは、ボランティア活動中の偶然な事故により、ボランティアご自身が被った「ケガ」、およびボランティア活動により他人に対して損害を与えたことにより生じた「賠償責任」に対する補償をセットにした保険です。

加入のSTEP 1



文社協窓口で加入書類(加入申込書・保険料支払い用紙)を入手し、記入



保険料を郵便局もしくは銀行にて払込み、支払証明書を受領



文社協窓口で申込書と振込控えを提出

令和6年度ボランティア保険の補償期間は、令和7年3月31日までとなります。

文京区社会福祉協議会では「令和7年度ボランティア保険」の申込用紙を3月中旬から配布予定です。

## 「点訳講習会」受講生フリーストーク



Yさん

Nさん

Kさん

2024年10月1日から12月3日まで全10回、文京区社会福祉協議会が主催する「点訳講習会」が行われました。修了した受講生3名に集まっていただき、それぞれの思いを語っていただきました。

### 受講のきっかけ

本を読むことが大好きな父が緑内障を患ったことから、家族としてできることを調べて点訳講習会の情報を得ました。

近隣に特別支援学校があり、白杖を持った方に会う機会もあることから点字に興味がありました。さらに、息子が網膜色素変性症という難病になったので、私が点字を習って息子の助けになればと思って講習会を探しました。

読書好きな私は「眼が見えなくなったらどうするんだろう」と子どもの時から思っていました。今回やっと日程があったので講習会に申込みできました。



### 講習会全体について

「わからないことがあっても気にしないでください。今日やる場所はわからなくても来週やる場所はわかるかもしれないから、やめないで続けてください。」って先生が最初におっしゃられ、サクサク進んでいきました。宿題も出て「あ、出るんだ！」って思いましたね(笑)

ついていけないとおっしゃる方は結構いらっしゃいましたけど、誰もやめませんでしたね。

講習会の進み具合はすごく早かったです。「宿題も遠慮がないですね」という感じで出ていました。(笑) みなさん同じですよ、週末になると必死で宿題やってたんじゃないでしょうか。

授業中に練習問題をやって答え合わせをするんですけど、自分の解答が正解していると自信が持てるようになります。翌週に点字用の解答をいただけるのが、すごくよかったです。

### 受講前と変わったこと

街中で点字を読めるようになり嬉しかったです。そのうち点字を見かけると近寄って読むようになりました。この前、駅のホームドアの点字を読もうと近づいたら、駅員さんに「離れてください！」って言われました(笑)

晴眼者と暮らすのは意外に大変ということを知りました。無造作に床に物を置くことが危険と分かったので気をつけたいと思います。

子どもが点字に興味を持ったみたいです。ある時「私、洗濯機についてる点字の『す』だけ読めるようになったよ」と言ってきたんですよ。洗濯機には『す』が多く表示されていることやソースのふたに点字がついているなど、私が気づけなかったことを教えてもらうようになり、講習会に参加してよかったなと思いました。

### これから何かをはじめようとする方へ

新しいことを始めると色々な発見があります。行動の幅も広がりますので、是非チャレンジしてみてください。

少しでも興味があればやってみる。というのが大事かなと思います。

私が点訳をやったことで子どもが興味を持つ、何かアクションするとそこで化学変化が起こります。やってみようと思ったら、足を踏み入れるということですね。